

## ぎかいの話題

## 決算特別委員会を設置し、令和元年度会計の決算を審査しました

議員全員で構成する決算特別委員会(平嶋慶二委員長、中原誠悟副委員長)を設置し、令和元年度の各会計決算関係議案7件について、9月15日から18日にわたり審査しました。

慎重に審査を進めた結果、防火対策業務に関すること、男女共同参画に関すること、有害鳥獣被害防止対策に関することなど、幅広い視点から議論を交しました。

その後、決算特別委員会における41項目の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書を取りまとめて、9月議会最終日には全ての各会計決算を認定しました。

特に、小中学校の施設整備については、全議員の合意形成を図った最重要の意見・要望として、市長に回答を求めることとしました。

### 全議員により合意形成を図った意見・要望

小中学校の施設整備については、子供たちの教育環境の向上とともに、災害時における避難所機能の充実という観点、及び高齢者の利用が多いという現場の状況も踏まえ、必要なトイレの洋式化を早急に進められたい。

また、空調設備についても、同様の観点から、未設置となっている特別教室への設置の必要性や設置箇所の検討を行うとともに、体育館への設置についても、有利な財源等が確保できる場合に対応できるよう、取り組まれたい。



避難所となる小学校体育館

### その他の主な意見・要望(抜粋)

#### ●防火対象物の安全対策

福祉施設や危険物施設の違反箇所が全て改善されるよう、今後取り組んでほしい。

#### ●男女共同参画の推進

苦情処理制度については、制度の周知に加え施策への苦情・意見を市民から広く集め、適切に市政に反映されるよう積極的に活用してほしい。

また、センターの相談員は、複雑化した相談に継続的に対応できる体制とするため、正規職員での採用に努めてほしい。

さらに、市職員の女性管理職の割合は少ないので、担当課が主導し女性登用を進めてほしい。

#### ●有害鳥獣被害対策

イノシシなどによる農業被害については、被害防止方法の調査・検討や、新たな有害鳥獣駆除班の設置などの人材確保に努めるとともに、住宅地や市街地への出没に対する不安の声や、市民相談には丁寧に対応してほしい。

#### ●おおむた100若者未来応援事業

補助対象がUIJターンの若者に限らないことの周知や、補助対象者の新規登録人数が激減した根拠を分析し、事業の積極的な広報などにより、若者の市内就労を一層支援してほしい。

#### ●地域包括支援センター

専門職の確保は容易でなく、相談内容も複雑化しているため、業務性格に見合った内容で運営できるよう、人員体制の在り方や業務委託の有無も含め、検討・改善してほしい。

また、委託先の法人でも専門職の確保が難しいことから、センターも受託事業所自体も円滑に運営できる方策を検討してほしい。

### 令和元年度各会計決算の概要(1万円未満四捨五入)

一般会計及び特別会計		歳入	歳出
一般会計		538億9,259万円	537億3,801万円
特別会計	国民健康保険	143億8,351万円	140億7,674万円
	介護保険	135億3,429万円	131億7,329万円
	後期高齢者医療	20億6,211万円	20億2,596万円
	病院事業債管理	11億6,784万円	11億6,784万円
事業会計		収益的収入	収益的支出
水道事業		28億9,413万円	23億7,260万円
公共下水道事業		38億4,265万円	32億1,716万円